



図書館だより

1月号

徳島北高等学校図書委員会

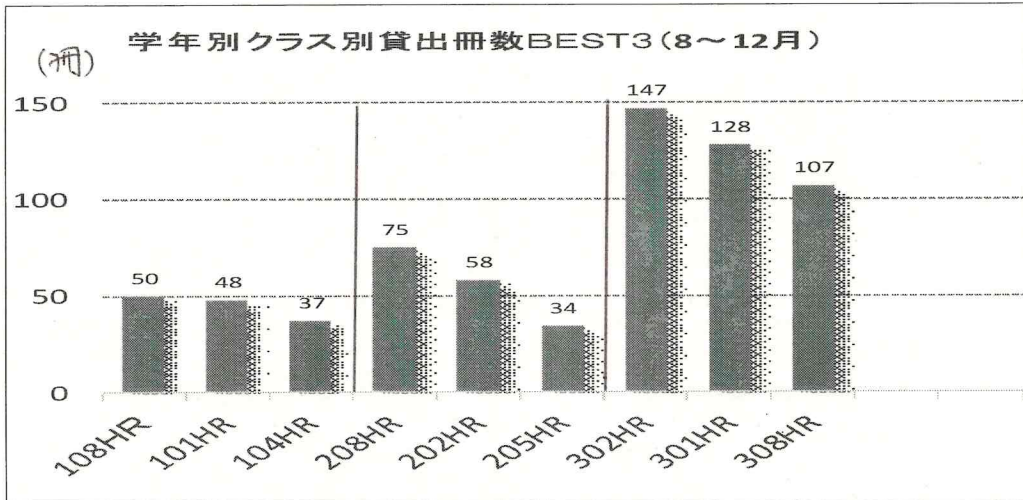
「春をよぶ読書週間」の展示について(予告)

期間： 1月21日(月)～2月8日(金)

場所： 図書館内 & ガラスのストリート

- 内容：(1) 図書委員(前期・後期)のおすすめ本(紹介文と本の展示)
前期図書委員の分は、文化祭の展示の再展示です。
(2) 先生のおすすめ本
紹介文をリストにしています。じっくりお読みください。

※ 期間中、図書館に来てくださった方に、プレゼント(「手作りしおり」)をします。誘い合わせて、ぜひ見に来てください。



- 8月～12月までの個人貸出の状況です。図書館の本の利用ができていない人はいませんか？3学期は、より多くの利用をしましょう。
- 3年生の人は、2月末には、借りている本の返却を。3月からも、必要な本は特別貸出の手続きをして貸し出せます。



図書委員のおすすめ本

「とくしまの子供のためのブックリスト100!」を11月15日～12月13日までの1か月間、県立総教センターから借りました。手に取ってもらえたか。100冊の本のセットです。幼児期や小学生の時に出会った絵本を手取る人もいたようです。1・2年の図書委員を中心に、関連事業のコメント・POP部門に39名の人が応募しました。下の紹介文には、100冊の本の中から書いたものもあります。絵本をはじめさまざまな本ですが、高校生の皆さんが読み直しても、どの本も新たなメッセージをくれたり、言葉の力を感じることでしょう。

『星の王子さま』 サンテグジュペリ 著 201HR 松島 菜月
この本には、独創性の大切さや人生の楽しみ、探索する勇気の大切さや心で感じるままに生きることなど様々な人生の教訓が隠されています。生きる意味を考えさせられる名作です。ぜひ読んでみてください。

『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス 著 201HR 山崎 蒼生
この本は、知的障がいを持つゴードンが知能を手に入れる薬を飲んでからの話です。急激に知能を高め、周囲との関係性がめまぐるしく変化するところに注目です。最後まで読めばタイトルだけで感動してしまいます。

『めっきら もっきら どおんどん』 長谷川 薫子 著 ふりやな 絵 205HR 加本 真由
このお話は、とある少年かんだが覗き込んだ穴に吸い込まれ、おばけの3人組と遊びますが……。リズムのよいシンプルな文章で、とても楽しいファンタジーな絵本です。

『はらぺこあおむし』 エリック・カール 著 もりひさし 訳 205HR 大貫 鈴夏
このお話は、日曜日に生まれた小さなはらぺこのあおむしが、月曜日から金曜日までの毎日いろいろな食べ物を食べながら成長していき、最後に美しい蝶へと変身するお話です。

メッセージ

- 図書館を利用して幅広い本を読むことにつなげ、学力の基盤を作りましょう。世界をより広げて心豊かな生活を送りましょう。
- 辞書や本を利用し、教科学習の発展的学習をしたり、総学の探究的な調べ学習に、本や新聞・資料の活用をしましょう。
- 3年生の皆さんはこれからも自習にもしっかり利用してください。また、それぞれの進路や将来に備えるための読書が、これからも求められています。3月まで、身近な学校の図書館を利用しましょう。

3月号には、4月～2月までのクラス別貸出数を発表する予定です。
友達と図書館に行こう！積極的に本を借りてみよう！